

きょう 京から取り組む 健康事業所宣言 取組事例集



協会けんぽ京都支部で「健康事業所宣言」を
されている企業様に、健康づくりに関する取り組みの
背景や事例等のお話を伺いましたので、協会けんぽ京
都支部にご加入の皆様にご紹介させていただきます。

これから健康経営®に取り組んでいきたいと考える事
業所様にもご参考としていただけます。

すでに取り組みをすすめている事業所様も、本事例
集を参考に、ぜひできることからステップアップを目
指してみてもはいかがでしょうか。



全国健康保険協会 京都支部
協会けんぽ

「健康経営®」とは

従業員の健康を重要な経営資源と捉え、積極的に従業員の健康づくりに取り組むことで会社の生産性向上を目指す経営手法のことです。

※「健康経営®」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です

二九精密機械工業 株式会社 FUTA・Q

H P ● <https://futaku.co.jp/>
所在地 ● 京都市南区唐橋経田町33-3

業 種 ● 金属加工業
従業員数 ● 288名（R6.4現在）

一 なぜ、いまわたしたちには健康経営が必要なのか

現状把握とその対策としての取り組み

二九精密機械工業株式会社は京都市南区に本社を構え、1917年（大正6年）の創業以来、100年以上の歴史を持っています。長年にわたって培ってきた切削加工技術の実績により、最近では特殊合金やチタンなど、難削材の超精密・高精度な加工を業としております。

当社は「顧客、従業員、協力会社の3者にとっての安心」を経営方針に掲げ、その思いを全社員に浸透させています。また、2015年（平成27年）からは「家庭が一番！仕事はその次」をモットーに、従業員への安心を形にした制度を整備しています。現代社会において、健康経営は従業員の心身の健康を守り、生産性向上や企業の持続的成長を実現するために不可欠であり、企業としての競争力を高める重要な戦略となっています。

取り組みのひとつとして、健康診断の受診率を100%に高め、所見のあった従業員全員には、二次健診の結果が出るまで追いかけるように徹底した指導をしています。実際にがんの早期発見につながった事例もあります。その他には、入院時の入院給付金や手術給付金を会社から支給することで経済的な安心を与え、体調が回復するまでの短時間勤務や治療のために休みを取りやすい雰囲気を作り、安心した環境を提供しています。

厚生労働省のデータでは休業者の約40%、内閣府のデータでは育児休業から復職した母親の約60%が復職後のストレスを感じていると報告されています。当社では、治療で休業された方に「絶対に戻ってこい。今は治療に専念しなさい」と経営者が勇気づけています。その言葉を聞いた社員は、回復後も「この会社で働き続けたい」とモチベーションが向上しました。さらに、部下が少しでも調子が悪そうであれば声をかけ、

部下からの評価が高まったというエピソードもあります。また、育児休業を終えて会社に復職しても、子供が小学校を卒業するまでの期間、育児短時間勤務制度を活用することができ、出産後の復職率は100%です。

他にも、腫瘍マーカーの検査費用の会社負担、インフルエンザ予防接種費用の会社負担、運動サークル活動支援や、昼食費用の補助やヘルシー給食の提供など取り組みは年々増え続けています。

二九精密機械工業では、従業員が健康であり、家庭を大事にすることで集中力や創造力が増し、企業全体の業績が向上しています。健康経営優良法人についても年々認知度が高まっており、魅力的な職場と評価され、優秀な人材の確保にも繋がります。今の働き方改革や採用困難な時代こそ、健康経営が重要な取り組みであることを当社は認識しています。



本社 社屋



2023 忘年会

多面的な健康づくり推進により、客観的な評価にも繋がる

- 健康経営優良法人の制度が始まった2017年から8年連続、2021年からは4年連続でブライト500に認定されました。
- 他にも、「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス認証企業や、子育て環境日本一に向けた行動宣言は京都府で第一号の宣言を行いました。



2024
健康経営優良法人
Health and productivity
ブライト500

一 最後に

健康経営に取り組むことで、従業員の健康増進や一人ひとりの働き方の改革が進み、ひいては生産性の向上や優秀な人材の確保にも繋がっています。成果が出るまでの時間は早くはありませんが、着実に一歩ずつ効果を生むことができる健康経営を皆様にも是非お勧めします。

健康経営に取り組むきっかけ

（創業の想い：代表取締役 松久保道德）私は前職では仕事や生活が病気や障害の原因になった人々を治療する医療機関にいました。そのなかで取り組んだ経験が私の創業の原点です。そのため、私の会社は、地域になくてはならない仕事をしたい、スタッフの働きやすい職場をつくりたいと心に決めておりました。

組 織 の 体 制

2004年に在宅介護事業を創業。「住み慣れた地域で安心して住み続けられるために」を目標に、複数の訪問看護・看護小規模多機能型居宅介護・居宅支援事業を行っています。スタッフは看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・介護士・ケアマネジャーで20歳台から70歳台まで30人です。対象地域は北区・左京区・上京区で、自宅で生活する約300人の利用者様に対して介護サービスを提供しています。また、2017年から日本の介護技術や知識の普及を通じて、中国河南省・江蘇省・黒竜江省・遼寧省等で日中交流を進めています。

毎年協会けんぽから健診の案内が届きますので、全スタッフに健診内容や希望日を事業所管理者が確認し申し込みます。婦人科検診を含む費用は常勤・非常勤とも会社負担です。健診結果は会社でも把握し二次健診や日頃の受診状況を面接を通じてスタッフと話します。面接時には働き方や家庭のことなども突っ込んで話し、会社で配慮できることは配慮します。例えば子どもさんが不登校で家庭にいらっしゃる場合は昼食を家で一緒に取ることも配慮します。

主 な 取 組

弊社は少人数ですので何でも話し合える親しさがあり、忘年会や花見など親睦会は家族と一緒に参加されます。常勤・非常勤問わず全員が健康診断受診し、胃・肺・大腸・乳癌検診受診率100%、子宮癌検診92%です。また、育児や介護のための就業時間の短縮、子どもの看護や介護の為に有給休暇、メンタルヘルス不調者に対する業務軽減、ワークライフバランスについての学習会を行っています。「働き盛りの世代の健康の保持増進」に関わり、1つのエピソードをお話します。

弊社は、女性が多い職場ですので、健康診断に合わせて希望者は婦人科検診を受けることができます。会社負担にしているのは気軽に受けてもらいたい思いからです。スタッフの一人は初期の乳がんが見つかり、手術とその後のリハビリ期間を経て、現在も元気に働いています。自分自身が病気や怪我をすることで利用者の気持ちにさらに寄り添うことができ、弊社の健康づくりの取組にとても感謝しております。

子育てや介護があっても柔軟に働くことができる職場づくりを取り組んできましたが、子育てや介護があってもなくても、女性も男性も共に柔軟に働くことができる職場づくりを通じて、地域に貢献する仕事をすすめていきたいと考えています。



事業所で行った夏祭り



家族も楽しみにしている忘年会

株式会社Drive・Door

H P ● <https://drivedoor.p-kit.com/>
所在地 ● 京都市左京区岩倉幡枝町2037

業 種 ● 自動車販売業
従業員数 ● 7名（R6.7現在）

健康経営に取り組むきっかけ

全員が健康に対する意識と共に社員同士のコミュニティを大切に考え、自ら意識させ小さなことから続ける。

組織の体制

- 協会けんぽの「健康保険委員」を2名登録
- 協会けんぽの特定健康指導を毎年受けている

主な取組

- 熱中症対策時計の導入
- 1日に2回スポーツドリンクの配布
- 工場内に風の流れを作るため、柱に扇風機の取付
- ミストシャワーの取付
- 年に2回レクリエーションの実施

美味しいものを食べに行ったり観光に行き、心身ともに健康を心がけています。



ラジオ体操



ぶらさがり棒

ドライブドアが健保表彰を受賞
社内ヘルスケア活動が評価され
(株)Drive・Door (左京区、北村文孝社長)は、全国健康保険協会(協会けんぽ)の健康保険委員に選任された同社社員が旗振り役となつてスタッフの健康維持・増進に積極的に取り組んだ功績で、同京都支部長表彰を受賞した。

健康保険委員は、協会けんぽが発信する情報を事業所で浸透させる役割を担う。同京都支部の広報担当によると、健保加入事業所のうち、健康保険委員を設置する企業の比率は10・6%(昨年9月末時点。委嘱期間などの要件を満たし、同表彰を受賞した保険委員は2019年が6人、20年が4人、21年が6人、22年が11人、23年が6人。同社で健康保険委員を務めるのは北村八重子取締役。営業・事務スタッフの望月まなかさんと2人で、高精度体成分分析装置を使用した体水分量や筋肉量などの測定、ラジオ体操の導入、スマートフォンを対象とした喫煙機会の定量化といった健康増進策を次々と取り入れている。協会けんぽも定期的に同社を訪れ、生活習慣病などの特定保健指導を行う。取り組みの軌跡は「比較的健康維持」の気運が高まり、「北村取締役」(北村八重子)も喫煙者全員が加熱式に替えた(望月さん)という。

こうしたヘルスケア活動は、自身も毎月予防検診を受けるという北村社長は「健康意識によるところが大きい。北村社長は「従業員の健康が第一。ひいては定着率にもつながる」としている。

全国健康保険協会支部長表彰の表彰状を持つ北村取締役と、健康経営推進法人の認定証を持つ望月さん

京都自動車新聞に
健康保険委員表彰受賞の
記事が掲載されました！
(2024年2月21日掲載)



株式会社 ミツワ製作所

H P ● <https://mitsuwa-factory.co.jp/>
所在地 ● 綴喜郡井手町井手川久保7-2

業 種 ● 製 造 業
従業員数 ● 55名 (R6.6現在)

健康経営に取り組むきっかけ

従業員の健康は会社の向上！

社内の健康診断の結果から、従業員にストレスや生活習慣病に悩んでいる方が多数いることが判明し、全体的に健康増進の必要性を感じました。健康経営に取り組むことで従業員のモチベーションや生産性の向上が期待でき、業績向上することでも、それが従業員の幸福度につながると感じたので、取り組みを開始しました。

組織の体制

会社の指揮のもと安全衛生推進者を中心に総務部とともに実務を行っています。また、社内行事の際は都度実行委員会を設置し取り組んでいます。

主な取組

●「きょうと健康づくり実践企業」毎年認証

●健康経営優良法人2022認定

●健康診断受診率100%

全従業員を対象に毎年健康診断の受診をしています。

健診後の二次健診への声掛けや保健指導対象者は全員指導を受けていただいています。

●協会けんぽからの健康測定器貸し出しサービスを活用

●協会けんぽのウォーキングイベント「ある古っ都」を周知して各自参加

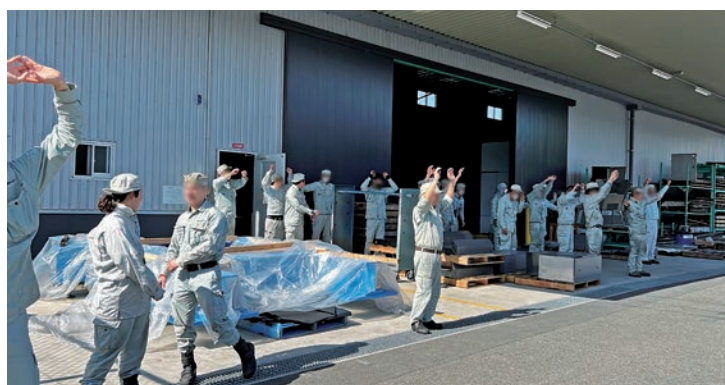
●毎朝就業前に全館放送でラジオ体操を実施

●従業員のリフレッシュとコミュニケーションの場として年に2回慰労会を開催

●会社節目の時には社員旅行を開催



健康測定器 (Inbody 測定)



朝礼前のラジオ体操の様子



忘年会の様子

雅豊建設株式会社

H P ● <https://shoho-inc.com/>
所在地 ● 綴喜郡井手町井手西高月6-5

業 種 ● 建 設
従業員数 ● 15名 (R6.6現在)

健康経営に取り組むきっかけ

社長の『健康経営優良法人』のマークを取得したいという一言がきっかけです。

建設業界は『3K(きつい・汚い・危険)』のイメージが強く、すごく不人気なネックでした。そこで、若い世代にも来てほしい、会社のイメージアップしたい、そんな社長の思いから健康経営ってどんなことが必要なのか調べました。調べるうちに、社員の健康を意識した取り組みができると思い、まずは『健康事業所宣言』をしたのがきっかけで取り組みだしました。

組織の体制

まずは、社長が率先して特定保健指導にも積極的に取り組んでいるので、受けたくない社員も受けることになりました。毎年毎年、特定保健指導の連絡をもらうと、指導の対象になりたくないって気持ちにもなり、真っ先に社長がダイエットに取り組み痩せました。その他の社員も影響をうけてダイエットや健康への意識が高くなりました。

主な取組

- 現場でのラジオ体操
- SNSを使って、社員と情報共有
- 健康測定器の貸し出しサービスの利用

社員と一緒に利用することで、コミュニケーションを図ったり、健康意識の改善にもなります

- 協会けんぽが開催した座談会に参加 (P7参照)



10年前 太ってた時



2024年 ダイエット後の今



朝のラジオ体操風景



京都働き世代の健康データブック

協会けんぽ京都支部では、働き方の違いに起因する業態別の健康課題・特徴と対策をまとめた「京都働き世代の健康データブック」を作成しています。自社の業態や働き方の特徴を意識した健康づくり・健康経営の実践にご活用ください。



京都支部特設サイト(座談会)紹介

協会けんぽ京都支部では、「京都働き世代の健康データブック」の作成にあたり明らかになった健康リスクが比較的高い業態に対するアプローチを目的として、事業所での現状・課題や取り組み好事例を皆さまにお知らせする座談会を開催しました。

建設業界座談会



全国健康保険協会 京都支部
健康づくり部

建設業界×協会けんぽ

「健康事業所宣言」が
もたらす企業価値の向上



タクシー業界座談会



全国健康保険協会 京都支部
健康づくり部

コラボヘルス タクシー・ハイヤー業界

「最近、どう？」
命を運ぶドライバーへの健康キーワード。
京都の足となるタクシー業界では、
「健康改革」が始まっています。



過去の取組事例集は
こちらからご覧ください



2021年度版



2022年度版



2023年度版

健康経営に取り組むきっかけ

「従業員みなさんに長く元気に働いてほしい」という経営者の想いは、ただ健康状態が良いことだけでなく元気にイキイキと働くという意味も含まれています。生産年齢人口が急速に減少していく中であって従業員が「できるだけこの会社で働いていたい」と思えることを第一に考え、心と身体の健康に加え社会的な健康を目指すという想いを具現化するために始めた取り組みが、結果的に「健康事業所宣言」「健康経営優良法人2023」というかたちに繋がりました。

組織の体制

健康保険委員と衛生管理者の健康づくり担当者が中心となって、「事業所健康度カルテ」と「健康習慣アンケートの結果」をもとに現状把握を行い、取り組むべき課題を抽出して年間スケジュールを立て、取り組み実施後にはその成果を検証して毎年改善に努めています。このように「何をいつやるか」をしっかりと見える化し、健康経営のPDCAが回るよう計画的な健康経営の取り組みを行っています。

主な取組

- ウォーキングアプリと連携できる自動販売機に特保飲料を提供（脂質リスク保有率の低減）
- スマートウォッチを勤続表彰記念品に採用
- ミーティングルームにバランスボール機能チェアを採用
- ノー残業DAYを設定し定時退社を徹底
- エレベーター停止時間帯を設定し階段使用を促す
- 朝夕のアルコールチェックと毎週水曜日に血圧測定と睡眠チェックを実施し、健康状態の把握に努めている
- 体組成計を設置
- ストレスチェックを実施
- 毎年3日間の特設保健指導を実施
- 喫煙場所を屋外に移動し、分煙を図る（喫煙習慣割合の改善）
- 月に一度、他部署の従業員が数名ずつ集まり、地域美化のボランティア活動に参加して円滑なコミュニケーションを行っている
- アルコール除菌液やマスクの配布
- 健康習慣アンケートの結果を反映した健康セミナーを行う



ウォーキングアプリ連携の自動販売機



バランスボール機能チェア



健康セミナー



地域美化コミュニケーション



アルコール・睡眠チェックと血圧測定

健康経営に取り組むきっかけ

当社では元来より安全で安心して働くことのできる職場環境づくりとして安全衛生に取り組んで参りましたが、更に様々な側面から働きやすい職場の実現に向けて活動していきたいと考え、健康面からも取り組むこととなりました。

組織の体制

毎年発行している安全衛生方針の中に「心身の健康保持」の項目を掲げ、全社の課題としてトップが課題意識を持つことで、全社的に取り組みを行っています。

主な取組

●2017年より継続して「京から取り組む健康事業所宣言」

●2020年より継続して健康経営優良法人に認定

●従業員が利用できる厚生施設の設置

以前は従業員に仕出し弁当を提供していましたが、社内で食事が提供できる食堂施設を設置。温かく健康的な食事を提供できるようになりました。

また、従業員が自由に使える筋トレ器具やリラクスペースも設置しました。

●特定保健指導の全員受診

特定保健指導の対象となった方は業務中に受診できるよう調整し、対象者全員が受診できるようにしています。

●協会けんぽサービスの利用

2018年度より継続して健康講座を受講しています。喫煙者にたばこリスクの講演、事務担当者には肩こり腰痛の講演などテーマに合わせて対象者を決定、受講を促しています。

また健康測定機器のレンタルを利用して従業員の健康意識の向上に努めています。結果について従業員同士で話をするなど、コミュニケーション手段のひとつにもなっています。



食堂



健康講座受講



健康測定機器利用



TOWA株式会社

TOWA

H P ● <https://www.towajapan.co.jp/jp/> 業 種 ● 製 造 業
所 在 地 ● 京都市南区上鳥羽上調子町5番地 従業員数 ● 623名(2024.3.31現在)



TOWA健康宣言

『健康づくり実践企業』



健康経営に取り組むきっかけ

当社には「会社の発展には社員とその家族の健康が不可欠」という考え方があります。健康経営が企業の発展につながっていくという考え方や「健康経営優良法人」認定制度が浸透してきたこともあり、より一層健康を増進することを目指して2019年に健康宣言を出したのが始まりです。TOWAは、「社員＝財産」と考えており、社員1人ひとりの健康と働きがいを第一とし、人財育成や健康経営の推進に取り組んでいます。

スローガン

「健康」の木が、少しずつ実をつけ育っていく姿をイメージし『～Let's grow our healthy tree!～』をスローガンに掲げ、健康推進への取り組みを進めています。

健康課題の内容

健康診断の結果では、全体的に生活習慣病のリスクにつながるような項目の数値が高い傾向にありました。

また、がん検診のうち、婦人科検診は自己負担となるオプション検査だったため、受診率が低くなっていました。

指 標	目 標	実 績
BMI (18.5～25未満)	80.0%	67.0%
ストレスチェック受検率	100%を維持	100%
総合健康リスク (※1)	90	89
いきいき度 (※2)	110	103

数値目標と実績

(※1) 職場のストレスが個人の健康に与える影響を示したスコアであり、厚生労働省が実施した調査データを元に「全国平均＝100」とした偏差値で低いほど良いこととされています。

(※2) 個人と職場の活性度を示したスコアであり、厚生労働省が実施した調査データを元に「全国平均＝100」とした偏差値で高いほど良いこととされています。

推進計画(主な取組)

<感染症対策>

- ・インフルエンザ予防接種の社内実施と、費用補助。

<メンタルヘルス対策>

- ・ストレスチェックの実施(受検率:100%)
- ・社員の健康保持・増進と会社の生産性向上を目指す取り組みの一つとして、社外カウンセラーによる「相談窓口」を開設し、仕事やキャリア、こころの健康など、様々な悩みを相談しやすい環境を整備し、こころのケアサポートを提供。
- ・メンタルヘルスの専門家による、職場環境改善についてのラインケア研修を実施。

<健康増進やコミュニケーション促進>

- ・クラブ活動費の補助や場所の提供。
- ・社員の健康推進と福利厚生を目的としてヘルスキーパー(企業内理療師)を設置。

<運動習慣改善>

- ・日常生活の中で運動を取り入れる習慣作りを目指し、階段利用の推進や毎朝のラジオ体操を実施。
- ・日々の運動や食事の管理、健康習慣を身につけるきっかけとして、健康アプリを導入。
- ・運動習慣を定着させるため、年2回のウォーキングイベントを企画・開催。
- ・社員やその家族への健康の目的だけでなく、社員同士の親睦をはかり、モチベーションアップを目的とした福利厚生の一環として、自社保有のグラウンドで、球技大会やスポーツフェスティバルなどのイベントを開催。

<職場環境の改善>

- ・社内の遊休スペースを、気分転換しながら仕事が可能な、カジュアルワーキングスペースとしてリニューアル。



ヘルスキーパー 施術の様子

<食生活の改善>

・栄養バランスの取れた食事の提供と、食に関する豆知識ポスターの掲示等健康情報の発信。

<女性活躍推進>

・社員が性別に関係なく、ひとり一人が健康で働き続け、正しく理解し合える職場づくりを目指す一環として、女性特有の健康課題や女性に多い病気・配慮すべき健康リスクなどについて、全社員（ご家族含む）を対象とした「女性の健康講座」を開催。

・社内啓発活動を通じて「がん」について正しく知る機会を設けるとともに、国が勧める5つのがん検診の受診を推進する目的で、女性特有のがん検診についても会社が費用を全額負担する制度を制定。



食堂メニュー

取組結果（効果検証）

がん検診の費用を会社が全額負担することで、受診率が大幅に向上しました。今後はこれを維持・さらに向上させるため、「がん教育」にも注力していきたいと考えています。

再検査の受診勧奨も積極的に行い、早期発見・早期治療に結び付けることで、従業員がいきいきと健康に働ける職場環境を作っていきたいと考えています。

外部認証・登録

「健康経営優良法人2024（大規模法人部門）」、「スポーツエールカンパニー2024」ならびに「きょうと健康づくり実践企業」に認定されました。



2023年からは「がん対策推進企業アクション」の推進パートナー企業として、がんの早期発見・早期治療の重要性を認識し、社内啓発活動を通じてがんについて正しく知る機会を設けるとともに、国が勧める5つのがんについては、検査費用を全額会社負担にするなどががん検診受診率の向上に努めています。

広報欄 京都支部の「京から取り組む健康事業所宣言」とあわせて取得される事業所様が増えています

京都府「きょうと健康づくり実践企業」認証制度のご案内



随時
受付中

京都府では、がん検診受診率の向上や健康づくり活動に取り組む企業を「きょうと健康づくり実践企業」として認証しています。大切な従業員の健康を守り、働く世代の健康づくりを推進しましょう。



認証までの流れ



企業

認証申請

企業の取り組みを審査

認証決定



認証企業

対 象 常勤従業員が計5名以上の事業所

認証期間 1年間

認証企業のメリット

- ・従業員の健康づくりに積極的に取り組む健康経営企業として、企業HP、製品、名刺、広告等、広くアピールできます。（認証賞、ステッカー、ロゴデータが送られます）
- ・認証企業を京都府HP等で、広く府民にPRします。

企業の取り組み

- ・がん検診・特定健診受診促進へ向けた取り組み
- ・健康づくりの取り組み
- ・受動喫煙防止対策



認証基準

- ・健診、保健指導、がん検診、健康づくりに関する取り組み等、6項目のうち4つ以上の項目に該当していること
- ・受動喫煙防止対策の措置を講じていること
- ・過去5年間に重大悪質な事案により法令に違反し、処分等を受けたことがないこと

詳しくは京都府HPよりご確認ください

手続き方法

申請様式をそろえ、持参・郵送にて京都府健康対策課または京都府保健所に提出してください。

（京都市内の事業所については、京都府健康対策課へ提出してください）

お問い合わせ先 ● 京都府 健康対策課

TEL：075-414-5687 FAX：075-431-3970
mail：kentai@pref.kyoto.lg.jp

詳しくはこちらから /

きょうと健康づくり実践企業



健康経営®チャレンジプログラム

協会けんぽでは、事業所様と協会けんぽとのコラボによる従業員様の健康づくりをサポートしています。
自社の実情に応じて、協会けんぽと一緒に健康度アップに向けてステップアップをしていきましょう！

「健康経営®」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です

1 健康保険委員への登録

まずは健康づくり担当者・健康保険事務担当者を“健康保険委員”に登録

登録すると…

- ・保健師等のプロによる健康講座
- ・事業所健康度カルテ※（従業員の健診結果を集約し、グラフなどで見える化したツール）の提供
※35歳以上の健診受診者が10名以上の事業所を対象に提供
- ・制度案内や申請書の書き方をまとめた便利なガイドブック進呈
- ・WEB研修会のご案内

健康保険委員についてはこちらから



2 健康事業所宣言の実施

事業所内の健康づくりの方針を定め“健康宣言”として社内外へ周知

健康宣言をすると…

- ・健康宣言証の交付
- ・京都支部HPへの社名公表
- ・健康測定器レンタル
- ・健康宣言事例集の提供
- ・京都信用金庫の金利優遇

健康事業所宣言についてはこちらから



3 健康経営の実践

健康宣言をもとに、協会けんぽとのコラボ（下記の「協会けんぽサービスツール」を参考にしてください）による健康経営を実践

健康経営の実践により…

- ・従業員の満足度向上
- ・人材の確保、定着
- ・健康宣言事例集への掲載
- ・外部機関の認証制度取得によるPR効果

例

経済産業省等
「健康経営優良法人」



経済産業省HP
「健康経営優良法人認定制度」

“健康経営が当たり前”

そんな会社を目指して、継続的に取り組むことができる体制づくりがポイントです

健康経営の

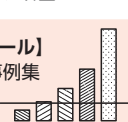
PDCA イメージ

Action

評価に基づき、次のPDCAに繋がる取り組み改善

【協会けんぽサービスツール】

- ・健康事業所宣言取組事例集
- ・健康経営セミナー



Plan

まずは自社の健康課題を把握して、無理のない目標を設定

【協会けんぽサービスツール】

- ・健康事業所宣言エントリーシート
- ・事業所健康度カルテ
- ・取り組みチェックシート



外部機関による認証制度の活用例

・健康経営優良法人
（経済産業省等）



・きょうと健康づくり
実践企業
（京都府）



PDCAを回した 健康経営の実践

協会けんぽ以外にも、外部機関のサポート・サービスを活用。

- ・健診実施機関
- ・労働局
- ・産業保健総合支援センター
- ・京都府
- ・自治体
- など

Check

取り組みの効果を経年で比較する等により評価

【協会けんぽサービスツール】

- ・生活習慣病予防健診
- ・事業所健康度カルテ
- ・取り組みチェックシート（振り返り）



Do

事業所が主体となった健康づくりの取り組みの実施

【協会けんぽサービスツール】

- ・出張健康講座
- ・健康測定機器レンタル
※機器は毎年変更となる場合があります
- ・特定保健指導
- ・メールマガジン配信（健康情報）



- 出張健康講座 …生活習慣・運動・メンタルヘルス等、専門職が実施する健康講座により、事業所全体＋従業員様のヘルスリテラシー向上で健康度アップを目指します。
- 健康測定機器レンタル …健康度測定により、自身の身体の現在値（いま）を知り、今後の健康づくりへの意識アップに繋がります。